

広報クイズ??

- ① 4月1日から消費税は〇%になります。
- ② 4月1日から1週間の労働時間は〇時間を超えてはなりません。
- ③ 表紙の花は〇〇〇

ヒント 広報をよく読んで...

正解者には抽選で3名の方に記念品を進呈。

★応募方法

裏	表
クイズの答え ① ② ③ 住所 氏名 電話番号 町に対するご意見 ご希望等	956-01 小須戸町大字小須戸120 役場総務課 企画財政係 行

★締め切り 3月15日(消印有効)

2月号のクイズの答え

- ① 振替納税推進の町
- ② ドイツ、スイス

当選者 大森美恵子さん(矢代田3)
加瀬 敏子さん(文京町1-3)
長崎よし子さん(天ヶ沢1)

食生活改善推進委員協議会の紹介(3)



伝達講習時の新保地区のみなさん

私達、食生活改善推進委員の中地区では、新保、竜玄、横川小向方面の4地区の活動にあたっています。それぞれの地区を担当する推進委員が、町の保健婦さんや、栄養士さんから研修を受けたことを地区に持ち帰り、地区の皆さんに伝達しています。

新保地区では、一月二十六日に若妻会から年配の方まで、幅広い年齢層に呼びかけ、大勢の参加者の中「骨粗鬆症の予防」に、乳製品をつかった料理を伝達講習しました。また、横川地区では、二月十四日に三十才代~四十才代の方から参加していただき、最近よく耳にする「高脂血症」(血液中のコレステロールや中性脂肪が増える病気を)を予防するための伝達講習会を実施しました。

食生活を改善し、少しでも病気を予防できるように、これからも伝達を続けて行きます。「私達の健康は、私達の手で」を合言葉に、お互いに健康について考えて行きましょう。

小須戸町食生活改善推進委員協議会
中地区副会長 高山 トメ

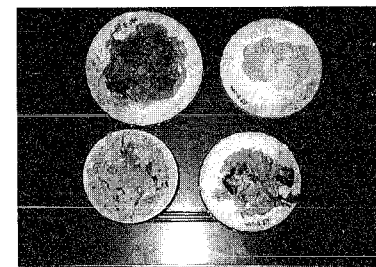
「高脂血症予防食」献立(写真)

- まいたけごはん
- キャベツとささみの生姜じょうゆ和え
- さばのごま酢漬け
- さつまいものきなこもち

作り方(材料6人分)

「さばのごま酢漬け」	
さば(ゆし、さくもも肉)	30g×12切
片栗粉	大さじ2 2/3
揚げ油	適量
玉ねぎ	120g
人参	60g
ピーマン	30g
サラダ油	小さじ1 2/3
しょうゆ	小さじ1 2/3
さとう	小さじ2 1/2
酢	小さじ2 4/5
白ごま	小さじ1 4/5

- ① さばに片栗粉をまぶし油で揚げる。
- ② 玉ねぎ、人参、ピーマンはせん切りし、さつと炒める。
- ③ 酢、しょうゆ、さとう、切りごまで漬け汁を作り、揚げたての①と②を漬け込む。
- ④ 味がなじんだら、さばを盛り付け、玉ねぎ、人参、ピーマンをのせる。



特別養護老人ホーム「しなの園」の臨時職員(寮父母)を募集します

社会福祉法人しろね福祉会では、今年4月1日にオープンする特別養護老人ホーム「しなの園」の臨時職員(寮父母)を次のとおり募集します。

- (1) 資格要件
40歳くらいまでの男女で、お年寄りの介護に理解と関心のあつ健康な方とします。
- (2) 募集人員
4~5名(予定)
- (3) 採用時期
平成9年5月1日から(雇用期間は、原則として1年間)
- (4) 勤務時間
土・日・祝日を含む、①~③の3交替制勤務です。

- ① 早出勤務 7:30~16:30
- ② 遅出勤務 9:30~18:30
- ③ 夜間勤務 16:00~翌日10:00

- (5) 勤務内容
入所者の生活全般(食事・入浴・排泄等)のお世話にあたりいただきます。
- (6) 給与・手当等
社会福祉法人しろね福祉会

② 申込受付期間

平成9年3月10日(月)から3月21日(金)までの、土・日曜日及び祝日を除く日の午前8時30分から午後5時30分まで

(8) 採用者の決定
申込者に対しては、4月中旬ごろ面接(日時・場所については、個別に連絡します。)を実施し、採用を決定します。

臨時福祉給付金が支給されます

今年4月から消費税率の引上げや地方消費税が導入されることとなりましたが、これらに伴って、老齢福祉年金や特別障害者手当の受給者、低所得のねたきりのお年寄りの方、65歳以上の低所得の方々に対し、臨時福祉特別給付金が支給されることとなりました。

具体的な支給対象者や支給などは広報と一緒に配布しましたパンフレットをご覧ください。

支給を受けようとする方は3月19日(水)までに申請書の提出をお願いします。

申請窓口・ご相談などは
保健福祉課 福祉係(内線34)です。お気軽にお尋ねください。

とうとうがとありがご寄付を

昨年十一月二十二日に亡くなられた、米田東吾氏(小向)のご遺族米田キク様より、社会福祉のためにということで三十万円のご寄付がありました。小須戸町社会福祉協議会へお届けして、使わせていただきます。ありがとうございました。



桃の花



春雷

下町は雨になりけり春の雷
正岡 子規

春雷、春の雷は春の季語です。春に雷が鳴ることは少なく、すぐに鳴りやむので気づかないこともあります。それだけに、より風情があるとして句が作られるようです。

雷は春、夏、冬と三つの季語になっています。夏の雷は特に北関東、鈴鹿山脈周辺、九州の日田盆地などに多く、三日に一度は夕立とともに雷が鳴るといふ地方もあるようです。

冬の雷は、雪起こしとか、ぶり起こしといわれ、北陸など日本海側の豪雪地帯で雪の季節の前ぶれとして、激しく鳴ります。ぶり起こしと呼ぶのは、このころから寒ぶりが捕れ始めるので、豊漁の前兆として喜ばれています。

ところで、雷におへそを取

られるとよくいいいますが、春雷や雪起こしの雷もそのような例えに用いられるのです。夏か。夏の雷雨により気温が下がり、子どもの薄着を戒めた話だとしたら、おへそを取るといわれているのは夏の雷だけかもしれません。

三月一日から七日までは、「全国山火事予防運動」の期間です。「春の全国火災予防運動」が併せて行われます。

春先は空気が乾燥し、枯れ草や落ち葉が乾きやすい季節です。もしそうした物に火がついて山火事が起き、さらに強風が吹いていたら大きな被害につながります。春になるとアウトドアレジャーや山菜採りなどで山に入る人が増えます。山歩きのマナーに気をつけましょう。

